

# 日本ブラームス協会 (旧ブラームスの会) 発足記念例会

■ 記念講演 「ブラームスの音の世界」 ～ 室内楽をめぐって ～  
講師 本田 脩 (JBS 顧問 桐朋学園大学講師)

■ 演奏

●ブラームス / クラリネットトリオ イ短調 Op. 114

cl. 熱田敬一 ( '72 フランス国立ルーアン音大卒 '78 毎コン3位)

Vc. 齋藤章一 ( '79 東京芸大卒 )

P. 瀧上千春 ( '79 東京芸大卒 )

●ブラームス / ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調 Op. 78

Vn. 岡田恵子 ( '71 東京芸大卒。東京ゾリスデン・コンサートマスター)

P. 青木紀久子 ( '71 東京芸大卒。デトレフ・クラウス氏に師事)

●ブラームス / チェロソナタ 第2番 ヘ長調 Op. 99

Vc. 藤原真理 ( '72 桐朋学園大学卒。' 71 毎コン1位/大賞

昨年 '78 チャイコフスキー・コンクール2位)

P. 岡本美智子 ( '67 桐朋学園大学卒。' 63 毎コン2位 米国留学

昨年 '78 チャイコフスキー・コンクール2位

桐朋学園大学講師)



cl. 熱田敬一



Vc. 齋藤章一



P. 瀧上千春



Vc. 藤原真理

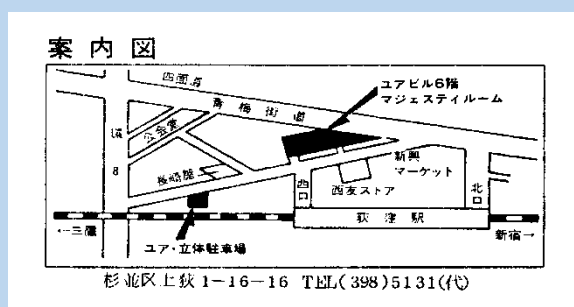


P. 岡本美智子



本田 脩

日時 **1979年5月5日 (土) 3pm**  
会場 **荻窪・ユアビル (マジェスティールーム)**  
チケット **一般¥2500 会員¥2000 (お茶付き)**



# 祝 辞

日本ブラームス協会、発足によせて

ピアニスト 岩崎淑

その部屋は、白い髭をたくわえ、ステッキを持ったブラームスが友人たちと、談笑しながら庭を歩いている黄ばんだ写真をはじめとして、さまざまなブラームスの本物の写真が壁にかかっていた。あめ色のつやのある柱や、くすんだ天井の雰囲気時代の古さをしのばせる。



写真 会誌10号/1980より転載

ここはハンブルクにあるブラームスファンが作ったといわれる「ブラームスケラー(注 地下室)」という小さなパブ風なお店。昨年1978年10月2度目のハンブルク・リサイタルを開いた弟の

岩崎洸と私は、ブラームスのチェロ・ソナタへ長調を弾いたお蔭で、友人達がこの小さな店に連れてきてくれた。ビール、ワイン、ドイツの美味しい小料理を食べながら夜の更けるまで、友達と語り合ったものだが、ここはブラームスが来ていたお店であり、彼の生家もコンサートホールの近くだったときかされ、すっかり感激してしまった私。

このようにしてドイツの生地で、毎日のように語られ、愛されているブラームス。はるか生地より遠く離れた日本で、このブラームスの業績を愛し、彼の音楽を理解し、楽しもうとする「ブラームスの会」が益々の益々の発展を期して「日本ブラームス協会」として、この度、再発足されるという。「言葉は辛辣だが心は優しく、その頭に才能がいっぱい詰まっているブラームス」とその熱愛ぶりを語った、ヴァイオリニストで作曲家のエネスコのように、本日聴きにいらした皆様と共に、私もブラームス熱愛者であることを自負し、今後の「日本ブラームス協会」の御発展を心からお祈りし、お祝いの言葉にかえさせていただきます。